

	牧師 山本護	司式 福田奈里子	奏楽 山本恵美	※讃美歌は二番までうたいます
前 奏	黙想		祈 禱	
讃美歌	31 わがみかみよ		讃美歌	94 久しく待ちにし
祈 禱			献 金	
信仰告白	使徒信条 566		讃 詠	547 いまささぐるそなえものを
聖 書	イザヤ書 40:3~5 ルカによる福音書 1:76~80		黙 禱	
讃美歌	95 わが心は あまつ神を		主の祈り	564
説 教	『沈黙と讃美』		頌 栄	539 あめつちこぞりて
			祝 禱	後 奏

「主のために、荒れ野に道を備え、わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ〜主の栄光がこうして現れるのを、肉なる者は共に見る(イザ 40:3~5)」。この預言は六百年後、洗礼者ヨハネ登場の時にも語られる(ルカ 3:4~6)。ヨハネが身をもって備える道に、「主の栄光(イザ 40:5)」としてイエスが現われる(ルカ 3:16)。遠い昔の預言は伏流し、ヨハネの所に湧き出で、イエスを迎える備えとなる。

「主の栄光(イザ 40:5)」とは何か。預言者は「闇の中を歩む民は、大いなる光を見、死の陰の地に住む者の上に光が輝いた(9:1)」と語っている。いかなる苦難、死の力さえも凌ぐ栄光。「主の栄光が現れる(40:5)」とは、抽象的なヴィジョンではない。神の子イエスの降誕として、人々に開かれていく救いへの具体的な扉だ。今日の聖句は、クリスマスの道備えをする洗礼者ヨハネ誕生に関する預言。

洗礼者ヨハネの「父ザカリアは聖霊に満たされ、こう預言した(ルカ 1:67)」。「幼子よ、お前はいと高き方の預言者と呼ばれる。主に先立って行き、その道を整え、主の民に罪の赦しによる救いを知らせるからである(1:76~77)」。ザカリアは神殿の祭司で、仕事中に天使から妻の懐妊を告げられ(1:13)、言葉を見失った(1:22)。ザカリアの数ヶ月に及ぶ沈黙(1:64)は印象的。沈黙は言葉以上の何かだ。逃れようのない力に捉われ、沈黙がぐっと深まり、その極みにおいて聖霊に満たされて讃美する(1:64)。これは「**霊**、自らが、言葉に表せないうめきをもって執り成してくださる(マ 8:26)」讃美ではないのか。

私たちは沈黙するだろうか。ザカリアのように長期間でなくとも、ほんのひと時ポカンとなることはある。沈黙、と言うと何やら大仰だが、ポカンなら受け入れられるだろう。人は、聴くにしても、働いていても、TV を観ていても、独りで四六時中しゃべり続けている。だから「**霊**、自らがうめきをもって執り成してくれても(8:26)」気づかない。ところがポカンとしていると、ふいに意識の裂け目で、執り成してくださる「**力**」に接触する。聖霊に吹かれている、と肌に感ずる。分るというのではない、腑に落ちるでもない、決意でもない。言葉がうまく整わないまま、うめくように祈るのだ。

洗礼者ヨハネは誕生すると「身も心も健やかに育ち、イスラエルの人々の前に現れるまで荒れ野にいた(ルカ 1:80)」と、あっさり書いているが、長男が家業を継ぐのが常の世でヨハネは祭司にならず、若くして荒れ野に隠棲した(クムラン洞窟宗団か否か)。ヨハネに道備えされたイエスも、長男の責任を放り出して遊行するラビになった。そのために母マリアは、苦勞させられたようだ(マルコ 3:31~32)。

くだけた言い方をすれば、親戚(ルカ 1:36)の超求道的なお兄さんに感化され、イエスも神が導くままに従い家業を放棄した。状況として見れば、ヨハネの道備えは社会制度への反逆だが、その奥には神の御手が働いていた。聖霊はヨハネに働き(1:36)、イエスには根源的な父となり(1:35)、救いの歴史が開かれていく(1:77)。家族の者にすれば迷惑千万だが、聖霊の業(1:67)として、納得してもらいたい。

道備えだけでなく、洗礼者ヨハネは母の胎に在る者同士としても、イエスに伴走していた(1:40~41)。「主に先だって行き、その道を整える(1:76)」預言は福音であり(1:77)、新たな「あけぼの光(1:78)」。聖霊に捉えられた私たちも、ヨハネとイエスの関係の内に、その光の内に迎え入れられている(1:79)。

ヨハネは祭司を継がず隠棲した ヨハネに道備えされたイエスは大工を継がず遊行した イエスに声かけられた若い漁師たちは網を捨てて出家した 聖霊に吹かれる私たちも何かしら手放している

本日礼拝後に役員会。トーンチャイムの練習もあり。12月は集会所と甲府での聖書研究会はお休み。牧師の動き:12/7ギリシア語の学び、12/15 山梨 YMCA で聖書のお話し、12/16 山梨県教誨師会臨時総会。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HP は「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。